

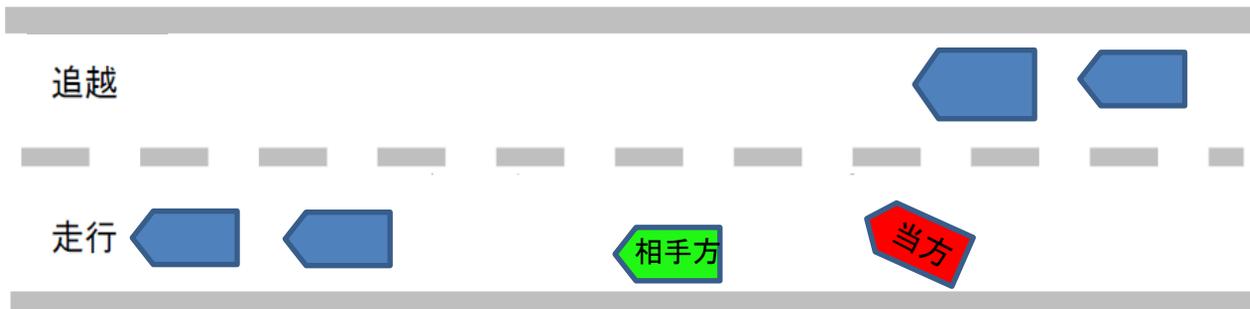
C2名古屋第二環状自動車道における通勤中の事故について

- 【発生日時】 令和 4年 10月 13日 07時00分頃
- 【区間・位置】 C2名古屋第二環状自動車道 飛島北IC～飛島北料金所間 内回り39.6KP付近
- 【作業内容】 ー
- 【受注者】 ー
- 【事象概要】 通勤時、飛島JCT料金所手前に於いて渋滞が発生。渋滞回避による車線変更しようとしたが、車線変更しきれず元の車線に戻ったところ、前方停止中の軽自動車に追突した
- 【被害状況】 物的被害(当方):レッカーによる搬出。前方破損
(相手方):病院に搬送されたため、レッカー移動にて対応。後方破損
人的被害:(当方):特になし
(相手方):全身に痛みがあり、救急車要請による病院搬送。
受診後、むち打ちと診断。
- 【時系列】 7:00頃 追突事故発生
8:45頃 事故対応終了後、事業所に連絡
16:50頃 緊急安全大会実施
- 【公表・非公表】 なし
- 【報道等】 ー
- 【原因】 ①前方の渋滞を確認していたが、本線料金所手前のため、普段通り減速し、流れていると思込み、減速が遅れた。
②車線変更を行おうとし、サイドミラーを確認していたため、前方への注意力が散漫となり、前方を走行している車両が減速し、停止している事を確認することが遅れた。
- 【対策】 ①渋滞発生時は前方の状況によっては停車する事も考えられるため、減速のみと思込まず、停止することも考慮し、減速・前方を注視する。
②車線変更を行う際は前方の安全を確認した上で実施する。
情報板を確認し、走行経路の渋滞に備える。

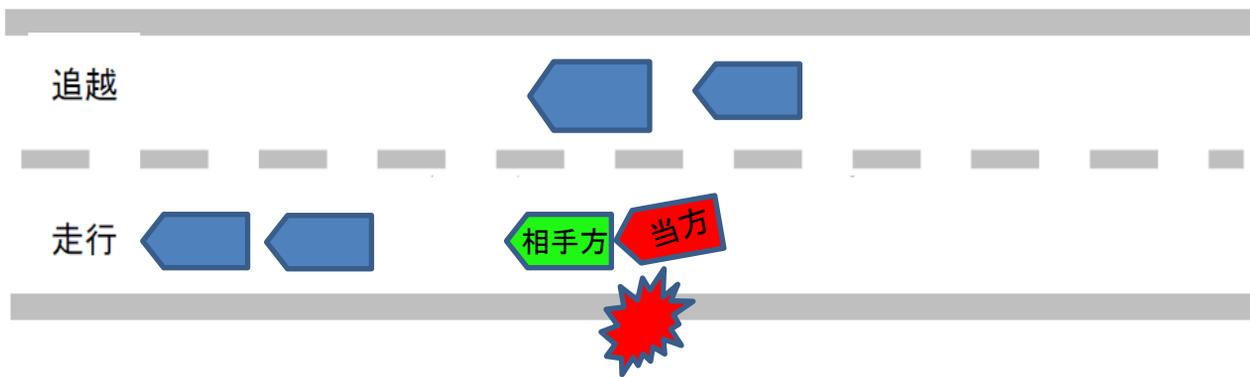
位置図



状況図



前方に渋滞を確認し、車線変更を行おうとする。



追越車線走行中大型トラック後方の普通乗用車に気づき、車線変更を中止、走行車線を走行するも、前方が渋滞しており、前方を走行中の相手方に追突したものの。